

司祭や修道者にまず求められるのは、教会は人びとへの奉仕に招かれたものであるといふ意識を信徒に深く浸透させること、そしてさまざまな困難を伴う奉仕の役割を、ともに心からの喜びを持って担っていきけるよう励ますことです。司祭が信徒の眞の同伴者となるためには、信徒の現実に対する十分な理解と共感、キリストの思いをしっかりと伝えるための深い知恵、奉仕者の中の奉仕者となるための献身的な働きが求められます。

- ③ 司祭や修道者は、信徒を含む社会の人びとの現実を目に向け、その声に耳を傾け、彼らの耳に届くメッセージを身につける。
- ④ 司祭や修道者は、人びとに教え指示するリーダーシップであり、人びとを必要に応じて支え、人びとの働きを励ます奉仕を重視し、そのような働き方を身につける。



日々社会の現実の中で生きる信徒にとっては、世の中の一般的な常識や利害関係にとらわれた考え方や判断をしてしまいがちな弱さがあるでしょう。また、表面的な福音理解から、キリストの望みに反するようない動をとりやすくなる傾向があります。多くの場合、そのような点で成長が求められないのではないのでしょうか。

- ① 信徒は、日々の生活で出会うすべての出来事を、信仰を通して見ることのできる目を養う。
- ② 信徒は、自分が派遣されている場と自分に与えられている固有の賜物を正しく理解し、

見きわめ、生かしていく力を身につける。

① 信徒は、日々の生活で出会うすべての出来事を、信仰を通して見ることのできる目を養う。

② 信徒は、自分が派遣されている場と自分に与えられている固有の賜物を正しく理解し、

③ 司祭や修道者は、信徒を含む社会の人びとの現実を目に向け、その声に耳を傾け、彼らの耳に届くメッセージを身につける。

④ 司祭や修道者は、人びとに教え指示するリーダーシップであり、人びとを必要に応じて支え、人びとの働きを励ます奉仕を重視し、そのような働き方を身につける。

15. どんな力を身につけなければならぬのでしょうか？